社会福祉法人ともかわさき

人材育成の指針

社会福祉法人ともかわさき

人材育成　指針

「人を活かして自分も活きる」

～人を活かしてともに
生きる社会を目指す～

ともかわさき人材育成委員会　　2024年4月1日

目的・指針

社会福祉法人ともかわさきの人材育成について

　ともかわさきでは、法人理念の実現に向け、人材育成・活用を重点課題としています。福祉の事業において、サービスを提供する人材は不可欠な存在です。今後、デジタル化が進んでも、人を支えることは人にしかできない部分が確実に存在します。

　様々な障害者福祉サービスで活躍できる人材を社会的な「人財」と考え、法人の理念である「利用者主体の上質なサービス」を提供できる「人財」を育成することで、誰もが活躍できる社会を目指します。

社会福祉法人ともかわさき
人材育成　指針

「人を活かして自分も活きる」とは

　法人職員全員が、それぞれの部署で専門性をもって活躍できるよう、他者の良いところを理解し、お互いを活かせる人になること。一人一人の力を最大限引き出し、それが強いチーム力となって、「利用者主体の上質なサービス」を提供し、「利用者の希望に沿った自立生活」を実現します。

　それは、職員一人一人が自分を活かし、活躍できるということでもあります。他者を活かすだけでなく、自分自身の強みも発揮し「ともかわさき」というチームで利用者の生活を支えます。

　そして、誰もが活躍できる「ともに生きる社会」を目指し、その一翼を担っているという自覚と自信を持てる職員を育成します。

指針の具体的キーワード

指針の具体像　職員各自で考える

責任感

あなたの仕事は
何だと思いますか？

協調性

あなたにとってチームとは
何ですか？

専門性

適切な支援とは
何だと思いますか？

６つの目標・具体像について、自分で考え、自ら成長する感覚を持ち、いきいきと働けることを目指し、利用者サービスに還元する。

健康

心身共に健やかで
あるためには？

積極性

自分の力を発揮
するには？

肯定的

人を活かすために大切に
していることは何ですか？

職員一人一人の成長段階によって、６つの具体像は変化していく。

育成方法　①研修

法人内研修	法人の職員として必要な考え方や、知識・スキルを身に着ける。
OJT	事業所での支援内容やその他の業務について、現場の職員から直接学び、実践を繰り返してスキルを身に着ける。 まずはOJTで学んだことを実践する。もし失敗があっても今後への学びと捉え、考えて行動する自律職員の育成を目指す。
交換研修	法人内の他事業所に数日間研修に行き、自事業所とは異なる利用者や状況に応じた方法を知り、視野を広げる。 そこでの学びを元に、自事業所の支援や業務において工夫や提案ができる職員を目指す。＊実施時期は随時
OFF-JT	外部機関（県社協や川崎市福祉人材センター等）で実施する研修に参加し、その時の立場に合わせた考え方や知識等を身に着ける。それを自事業所でも活かし、個人だけでなく全体のスキルアップを目指す。
専門職研修	サービス管理責任者研修や相談初任者研修、強度行動障害基礎研修等の研修に参加し、障害者支援専門職としてより深い知識・方法・考え方を身に着ける。最新の福祉の情報等を得て、法人全体のサービス向上を目指す。
事業所内勉強会	事業所において、支援やその他業務に関する必要な知識等の勉強を行う。

法人内研修

★法人内研修対象者：生活支援員（正規職員・パート）・看護師・ グループホーム世話人　他希望者等

１年目研修（年５回）　障害者支援とは何かを法人の理念から学び、職員としての基礎知識を身に着ける。

２年目研修（年５回）　障害者支援についての専門的な内容を学び、専門職としての自覚を持って業務に臨む。

３・４年目研修（年５回　＊複数年で全５回を受講する）
知識だけでなく、より深く自分で考え、広い視野で障害者支援をとらえられるようにする。

中堅研修（年２回）　主に外部講師による、より専門的な内容について学ぶ。

事例検討会（年１回）　法人内の事例を通して、参加者による支援の検討を行う。

コンサルテーション（年４回）　外部コンサルタントを招き、利用者支援の検討及び助言を得る。

サービス管理者研修（年２回）サービス管理者としてのスキルを身に着ける。

主任・主査研修（各年１回）　それぞれの立場や役割に応じた考え方を学び、法人共通の認識が持てるようにする。

育成方法　②育成ステップ表

①スキル確認	自分が法人の求めているスキルをどれだけ獲得できているのかをステップ表で確認する。
②目標を立てる	ステップ表の中で次に自分が獲得すべきスキル等の目標を立てる。
③面談	年２回、スキルチェック・目標設定を行った後、管理者と面談して振り返り、現状や今後に向けて共有する。
④実践	目標を意識しながら日々実践する。
⑤スキル確認 **振り返り**	ステップ表を確認。①～④を繰り返しながら、自分の成長を自信につなげていく。 得意な内容は積極的に、不得意な内容も少しづつ克服できるよう努力をしていく。

私たちは、職員一人ひとりが「法人の理念の実現」「利用者・家族・関係者・地域の満足の向上」という同じ目標に向かって進んでいます。

利用者の状況や課題に応じて、それぞれの事業所が持つ多様な個性や強みを活かし、弱みは補い合い、最適なチームを編成します。チームは柔軟に変化しながら、様々な困難や課題を乗り越えていきます。

すべての職員が活躍し、いきいきと個性や能力を発揮し、日々それぞれのペースで成長します。職員一人ひとりの成長がチームの成長につながります。

人は宝です。良い「人財」は良い組織を、良い組織は良い成果を生み出します。職員一人ひとりが「人材」から「人財」になれるよう、ともかわさきでは職員を育成していきます。